

シックハウスで講演会

室内空気汚染に注意

日本木材学会九州支部は18日、鹿児島市の県歴史資料センター黎明館で「シックハウス最新情報」をテーマに講演会を開催し、施工者や設計者ら約120人が参加し、シックハウス問題に対処するため最新の動きや研究動向、新しい住宅設計



テキストを手に熱心に聴講する参加者
＝鹿児島市の県歴史資料センター黎明館で

法などについて学んだ。講演会では、静岡大学農学部森林資源科学科の吉田明教授が「シックハウスをとりまく現状について」木質系住宅は果たして安全か、北里研究所病院臨床環境医学センターの宮田幹夫客員部長が「シックハウスが及ぼす人体への影響について」、鹿児島大学工学部建築学科の岩下剛助教

授が「シックハウス・環境共生住宅－快適空間への建築的対策」と題してそれぞれ講演。この中で、宮田部長はシックハウスから発生する健康障害やシックハウスの原因物質、対策等について解説、高気密住宅の開発と、新建材の普及は室内空気汚染のシックハウス症候群を引き起こすため発症前の注



植えた花に水をかける児童＝頤娃町の現場で

緑の少年団と県道植栽

花の大切さに理解を

指 宿 土 木

意と、室内空気汚染に十分注意し、建築専門家と相談して建築に配慮する必要があると説明した。また、岩下助教は実際の居住空間でVOC濃度、ホルムアルデヒド濃度などを測定した結果を踏まえ、一定量の換気量が確保されれば、セスキテルペンとオゾンとの化学反応が生じたとしても、

県指宿土木事務所は17日、頤娃町立青戸小学校の児童らで結成する「緑の少年団」の約20人と、同校職員と同事務所職員、建設業者ら総勢約40人で、県道頤娃川辺線の植栽帯に花の苗木約1200本の植え付けを行った。

鹿児島市公園緑化課
甲突河川畔での花見
24日からルール適用

- 鹿児島市公園緑化課は、甲突河川畔における「桜の花見のルール」について24日から適用するとしている。
- 【時期】
3月24日から（終了時期は桜の花見の状況に応じて判断）
- 【場所】
甲突川左岸及び右岸緑地
- 【ルール】
①花見の禁止場所＝通路、仮設道路、遊具広場、病院の前など禁止区域（禁止区域については看板で表示）
②場所取り＝場所取りは当日に行うこと。午前中は清掃のため禁止
③制限時間＝午後10時以降の花見は禁止。午後10時以降になる一部の照明を除き消灯
④ごみ＝ごみは原則として持ち帰ること
⑤炭火の使用＝火災防止には十分注意。バルベキューなどの器具は公園施設や樹木への影響の少ない器具を使用。消火用コナテナ設置場所以外での消化は禁止。消し炭は必ず持ち帰ること
⑥車の駐車について＝公園には駐車場はありません。公園の周りは駐車禁止
⑦騒音について＝カラオケなどの音量はひかえてください。発電機等の使用は禁止
【その他】
市職員、警備員などによる巡回指導とルールチラシの配布を行う

指宿土木事務所は、今回の活動を通じて児童たちの花の成長と生命の尊さを理解してもらうことを目的に行なった。冒頭、(有)指宿造園の花園秀治氏が、児童たちに苗木の植え付け方法について丁寧に説明。次いで、指宿土木事務所職員、建設業者(有)指宿造園、東建設(株)、加えて青戸小の児童で結成される「青戸緑の少年団」と同校職員とともに、正門前を走る県道頤娃川辺線の旧道敷地を利用して設置された植栽帯と花壇に、サルビア・ペゴニアなど8種類

新谷緑化(株)（新谷哲生社長、本社・鹿児島市）は18日、鹿児島市松原町の松原小学校にフラワーポット100基を寄贈した。今回寄贈されたフラワーポットは、国道225号（鹿児島市南林寺町）の共同電線溝植栽工事区間（松原小・城南小）に設置されていたもので、24日に行われる同校の卒業式に合わせて、工期終了前に寄贈された。フラワーポット（20cm×60cm）は、姫金魚草、ポピー、パンジーなど色とりどりの花々が植えられ、「花を大切に育てよう」という思いを込めての寄贈。

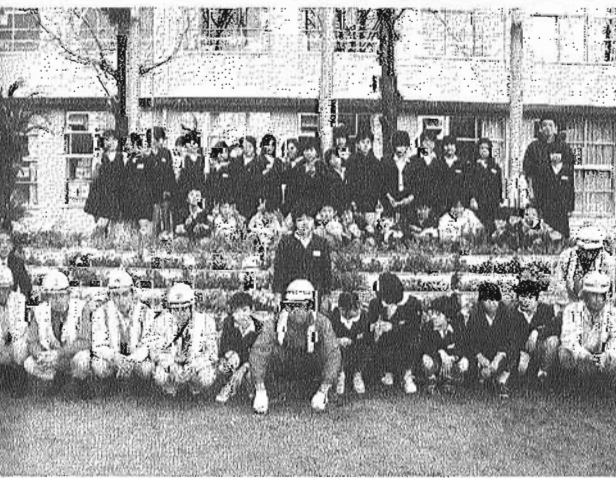
長洲剛詩画展
23日から
鹿児島市で
九州新幹線開業記念イベント実行委員会は23日午前9時45分から、鹿児島市の県歴史資料センター黎明館で「長洲剛詩画展 情熱」のオープニングセレモニーを開く。展示は23日から4月11日までの17日間。

「OKチャリ」でそのまゝホテルへチェックイン、チェックアウトも。OKチャリチャレンジ委員会（仮称）・鹿児島市ホテル旅館組合は、JRが行っている電動自転車レンタル事業「楽チャリ」に新しく、宿泊施設に自転車の乗り捨て料を支払い返却の手間を省いた「OKチャリ」システムを導入。新幹線開業を機に、鹿児島へ訪れる観光客に「また、鹿児島へ行ってみよう」と思ってもらえるように、

「OKチャリ」でそのまゝホテルへチェックイン、チェックアウトも。OKチャリチャレンジ委員会（仮称）・鹿児島市ホテル旅館組合は、JRが行っている電動自転車レンタル事業「楽チャリ」に新しく、宿泊施設に自転車の乗り捨て料を支払い返却の手間を省いた「OKチャリ」システムを導入。新幹線開業を機に、鹿児島へ訪れる観光客に「また、鹿児島へ行ってみよう」と思ってもらえるように、

また、JR九州鹿児島支社は地元土産店6社、飲食店22社とコラボレーションし、お得な特典付き「楽チャリ」を展開する。また、JR九州鹿児島支社は地元土産店6社、飲食店22社とコラボレーションし、お得な特典付き「楽チャリ」を展開する。

また、JR九州鹿児島支社は地元土産店6社、飲食店22社とコラボレーションし、お得な特典付き「楽チャリ」を展開する。また、JR九州鹿児島支社は地元土産店6社、飲食店22社とコラボレーションし、お得な特典付き「楽チャリ」を展開する。



新谷緑化の社員と寄贈された同校の児童ら
＝鹿児島市の同小学校で

新谷緑化(株)（新谷哲生社長、本社・鹿児島市）は18日、鹿児島市松原町の松原小学校にフラワーポット100基を寄贈した。今回寄贈されたフラワーポットは、国道225号（鹿児島市南林寺町）の共同電線溝植栽工事区間（松原小・城南小）に設置されていたもので、24日に行われる同校の卒業式に合わせて、工期終了前に寄贈された。フラワーポット（20cm×60cm）は、姫金魚草、ポピー、パンジーなど色とりどりの花々が植えられ、「花を大切に育てよう」という思いを込めての寄贈。

九州電力(株)鹿児島営業所婦人電気教室「あかり会」は25日午後2時から、鹿児島市のかしま市福祉協議会へ手作りぞうきん400枚を寄付する。